

臣猥リニ庸劣ヲ以テ任ヲ外務ニ辱クニ夙夜
恐悚以テ報効ヲ謀ル乃チ條約改正ノ議ヲ建ツ
廟議ノ採納スル所ト為リ命ヲ奉シテ其事ニ當ル
幸ニシテ上ハ 陛下ノ御威徳ニ頼リ下ハ内閣同僚
ノ扶助ヲ得テ其業稍ヤク成ルニ垂ントモ不慮傷ヲ
蒙ル起テ事ヲ視ル能ハサルモノ二閏月其罪實ニ大ナリ
陛下尚ホ譴責ヲ賜ハラス天使屢々臨テ病ヲ訪ヒ
且ツ恩賜スル所アリ聖恩優渥山高ク海深シ臣唯感
泣ヲ知ルノミ頃日創痛將ニ愈ヘントスルニ及ヒ始メテ廟議ノ
一變シ前案ヲ修正スルニ決スルヲ知ル今ニ迄テ前案ヲ變
易シ其成功ヲ期スルハ臣力能ク及フ所ニアラス幸ニ賢能ヲ
擧テ以テ臣ニ代ヘ賜フニ骸骨ヲ以テセハ何ノ幸カ之ニ加ヘン
陛下臣ヲ遇待ツスルノ渥キ上ニ記スルカ如クシテ臣國ニ於ル
寸功ナク敢テ此疏ヲ上ル死シテ餘罪アリ恐懼ノ至リニ勝
ヘス誠惶誠恐頓首謹請

明治二十二年十二月

外務大臣從二位勳二等伯大隈重信

外務大臣辞表草稿

明治22年12月

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

04-04